

三習工業株式会社 参考資料

～就職をお考え中の高校生の皆様へ～

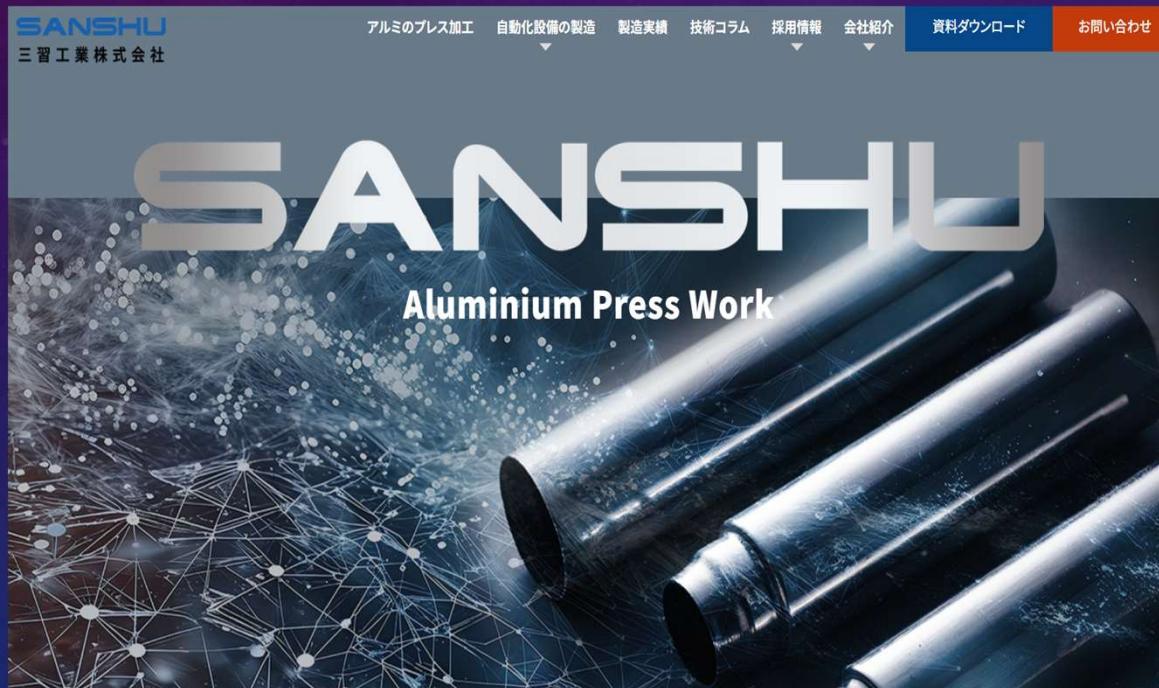
三習工業株式会社

(さんしゅうこうぎょうかぶしきがいしゃ)

項目	内容
所在地	埼玉県久喜市河原井町30番地
代表者	影山 順司
設立	1985年（昭和60年）5月1日
資本金	100,000,000円（2025年3月）
従業員数	30名



三習工業のホームページとQRコード (2025年4月、HPがリニューアルオープン)



三習工業の主要二部門

①製造部



②エンジニアリング部



製造部とエンジニアリング部

製造部

- ・三習工業の祖業で、主に、アルミニウム製の缶やケースを製造
- ・現在も、重要部門として稼働中

エンジニアリング部

- ・自社の生産技術部門（内製部門）が前身
- ・自社工場の自動化経験を、外部のお客様へ提供したことにより誕生

製造部のご紹介

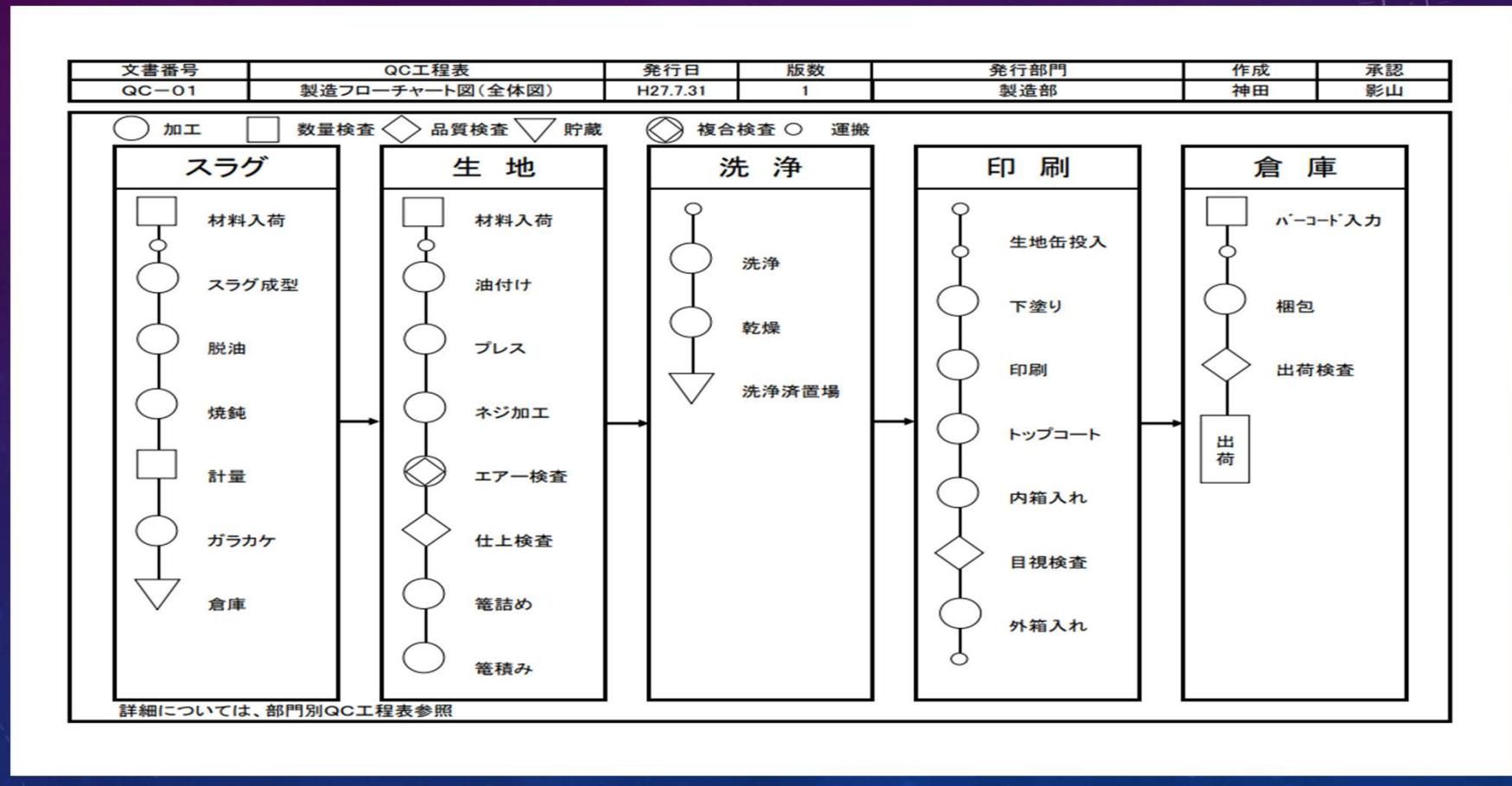
～高精度インパクトプレスでアルミ製品を製造～

弊社製造部について

- ・当社の祖業となる部門
- ・『インパクトプレス工法』にて、アルミ製品の製造を行っています
- ・『インパクトプレス工法』とは、そのまま直訳すると、「**衝撃を押し付ける**」という意味で、金属をプレスして、1回で成形する加工方法を指します



【参考】製造部の工程一覧





社内の風景 (製造部)

















エンジニアリング部のご紹介

～日本の製造業の未来を担う、
“自社発信”の技術チーム～

エンジニアリング部について

- ・三習工業では、自社の生産工程を、自力で自動化してきました。
- ・そのノウハウや経験を活かす形で誕生したのが、エンジニアリング部です。
- ・今まで、数百種類の自動機、FA機器、並びに、省力化装置を製作、納品した実績があります。



エンジニアリング部の業務①

・部材やボディの組み立て作業



・部品の取り付け、ロボットの活用



エンジニアリング部の業務②

・組み付け、電気配線



・電気配線の作業中

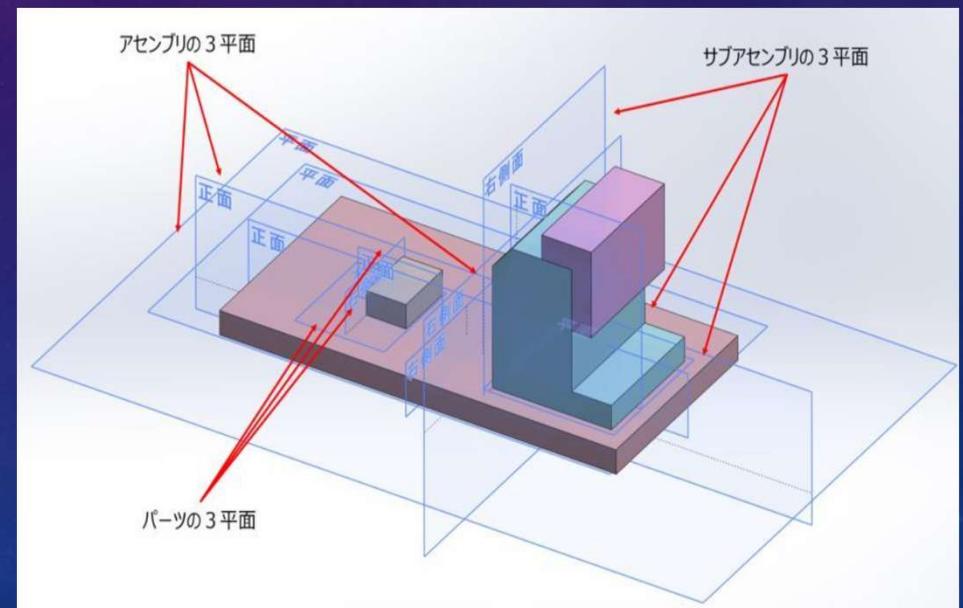


エンジニアリング部の業務③

・機械設計／電気設計



・CADによる製図（2D／3D）





社内の風景 (エンジニアリング部)











身につく経験や技術（主な例）

（製造部）



機械の修理や、メンテナンスを通して、
(機械の) 構造や動作原理を覚えられる



金型にまつわる技術やノウハウ、微調整の
仕方などが習得できる



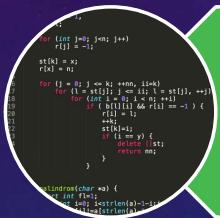
フォークリフト免許の取得（※勤続3年以
上）など

身につく経験や技術（主な例）

（エンジニアリング部）



多種多様な機器、パーツ、ロボットに関する情報や知識を覚えられる



CADによる図面の作成（機械）／プログラミングの技術（電気）など



機械設計、電気設計の技術／フォークリフト免許の取得（※勤続3年以上）など

【参考】入社後に取得が見込める資格一覧

【注意】資格の取得が確約（約束）されているわけではありません	【注意】資格の取得が確約（約束）されているわけではありません	【注意】資格の取得が確約（約束）されているわけではありません
玉掛け技能講習	公害防止管理者	ボイラー取扱技能講習
クレーン特別教育講習	第二種電気工事士	化学物質管理者
保護具着用管理責任者	危険物取扱者（乙種）	安全衛生プレス講習
プレス機械作業主任者	有機溶剤作業主任者	乾燥設備作業主任者
特別管理産業廃棄物管理責任者	フォークリフト運転技能講習（1t以上）	安全衛生推進者

【参考】三習工業いろいろ①



・製造部でのやりがい

自分が担当した製品（商品）が、実際に、お店に並んでいるのを見たとき



・エンジニアリング部でのやりがい

自ら製作に関わった装置が、お客様のところで活躍している光景を見たとき



・三習工業のユニークなポイント

社長が、『お金の勉強会』などを開催して、色々なことを教えてくれる

【参考】三習工業いろいろ②

・人間関係の良さと、働きやすさが自慢です！

人間関係のわざわしさがなく、非常に働きやすい会社です



・分からることは、すぐ、何でも、何度でも聞いて！

分からぬことがあつたら、いつでも聞くことが出来、教えてもらえる環境



・社長が描いている夢

数年後、当社の事務所棟を、工場併設の新建屋へ更新する計画（予定）

中学2年生の、『総合』の教科書に、 三習工業が掲載されています

磨き上げた加工技術でアルミニウム製品を製造

三商工業株式会社

〒373-0023 岐阜県多治見市東町1923番地
TEL 0580-22-8116 / FAX 0480-22-7509
http://www.samuraird.co.jp

実習授業 / 職場見学 / 個別質問

▲ホームページ

こんな仕事をしています。

国内でも珍しい「インパクトプレス」という技術を使い、アルミニウムを加工した製品を生産しています。特に細長い缶の形に加工するのが得意で、独自の技術を磨いてきました。フェルトペンの袖やスプレー容器など、私たちの生活に身近な商品を製造しています。他にも力を入れているのが、お客さんの要望に合わせたオリジナルの機械を設計・製作するエンジニアリング事業。長年のアルミニウム製品作りで積み上げてきた知識や技術を生かし、ものづくりの現場での困り事を解消する取り組みをしています。

QRコード

インパクトプレスってどんな技術？

「スラグ」と呼ばれるチップ状の材料を強い力で押し伸ばし、その圧力で金属が伸びがってくるのを利用して成型する加工技術です。アルミニウムや鋼のようなくわらかい金属も適しています。1回のプレスで成型できるため、生産速度が速く大量生産に向いていることや、材料の無駄が少ないとなど、さまざまな利点があります。

インパクトプレス加工に使う機械

製品ができるまで

①スラグを製造
直径2～3cmの長いアルミニウム線を短くカットして形を整えます。

②インパクトプレス
加工しやすいようにスラグにオイルを付け、プレス機にかけます。出来上がった製品は検査の後、きれいに洗われます。

③印刷して完成
洗って乾燥させた製品に商品名などを印刷。再び製品を検査し、箱に詰めて出荷します。

代表的な商品は直径15mmの油性フェルトペンの袖。毎月およそ100万本を製造しています。

これまでに三商工業が製作した機械は約400種類。中には「冷凍したご焼きごはんをパックに詰める装置」のようなユニークなものも。

働く人にインタビュー

入社のきっかけは、子どもの頃から機械が好きで、インパクトプレスに興味を持ったこと。新しい機械の知識を学べることに面白さを感じます。仕事選びで大切なのは、興味があつて長く続けられるかどうかだと思います。自分の「好きなことを大切にしてください。」

製造部 香川 祥吾さん

印刷の工程を担当しています。製品が実際にお店に並んでいるのを見ると「お役に立っているんだな」と感謝しますね。普段の仕事では、工場内をさりげなく回ります。元気な社員たちの元気が大きい。気軽に会話や相談ができるから安心して仕事ができます。

製造部 加山 達也さん

例えば…
こんな人に向いています

- いろいろなことに興味が湧く人
- 目の前のこと集中して取り組める人
- 体を動かすことが好きな人

エンジニアリング事業の流れ

三商工業では、生産工程のほとんどを、自社で設計・製作してきました。その技術や経験を生かし、他の工場などで使用されるオリジナルの機械の製作も引き受けています。

実際に製作したおもな機械

①お客様からヒアリング
どんな機械にしたいのか、お客様の要望や悩みを聞き取ります。

△手が足りないから手間を省く
△時間と効率を地域に任せたい

②イメージづくり
ヒアリングの内容から機械のイメージをまとめて、お客様の要望と合っているか確認します。

③本設計
本格的に機械を設計し、お客様からOKが出たら材料を準備して組み立てを始めます。

④配線やコントロール部の製作
組み立てが90%ほど進んだ段階で、電気配線や機械の動きを制御するコントロール部の製作を開始。プログラミング作業も進めます。

⑤完成
試運転や調整をし、お客様のチェックを受けて完成です。